

サイクルレコーダー機能

Cycle Recorder Function



設備における「モノの動き (映像)」, 「人の操作」, 「動作遷移 (信号状態)」, 「動作条件 (ラダー回路)」の四つの状態情報を記録し、設備動作の事象解析を支援するサイクルレコーダー機能を開発した。

本機能を搭載した TOYOPUC®-Nano 10GX および TOYOPUC®-Nano-AAA-ExHigh を組み合わせて使用することで、設備トラブル発生後の復旧、要因を調査する作業において、設備トラブルの速やかな真因究明が行え、設備の MTTR 短縮、可動率向上に貢献できる。

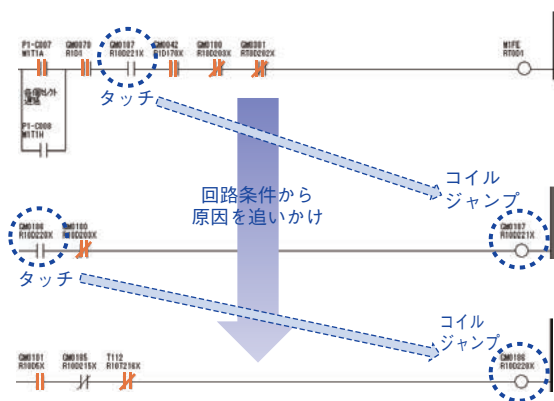
開発の背景

設備のトラブル対応では、設備内や操作盤などの装置・機器を確認しながら情報を得て総合的に判断するのが一般的である。しかし、トラブル発生時の人の操作手順や信号状態などの情報が残っていることはまれで、必要な情報が集まらず、トラブルの本質対策をすぐに実施することができない。

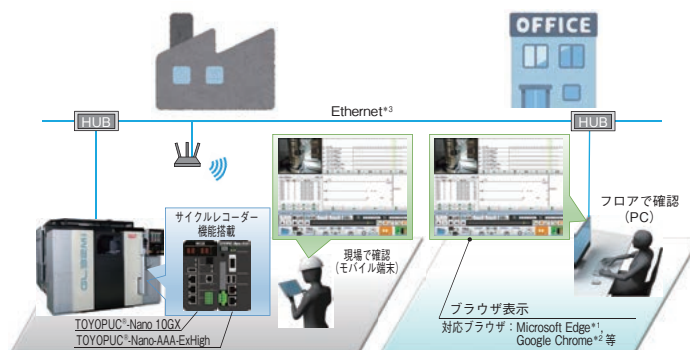
こういった保全作業の悩みを解決するため、人・モノ・制御の情報記録と事象解析が可能なサイクルレコーダー機能を開発した。

主な特長

- ①記憶に頼らず、記録で真因究明
設備トラブル後の設備再稼働を優先し、設備の異常復帰後も制御の信号状態に加えて、映像や人の操作まで記録し、事象解析が可能。
- ②見える化機能による効率的な事象解析
回路の追いかけ機能*により、直感的で容易な事象解析が可能。
*ラダー回路の条件をタッチしていきだけで、異常の原因を追いかけることができる機能。
- ③いつでも、どこでも確認できる
記録したデータを遠隔地からも確認でき、トラブル時のサポートが可能。



回路の追いかけ機能



いつでも、どこでも確認できる

* 1 Microsoft Edge は、Microsoft Corporation の登録商標です。

* 2 Google Chrome は、Google LLC の登録商標です。

* 3 ETHERNET/イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

(工作機械・システム事業本部 マシン制御技術部)

株式会社ジェイテクト